之般は雑誌を新たに其節はすゝめ申進す一切御尽
は明けて御合の際当段落とされ候て宜しく下
度正中ロ一たかう遠近くの歌にありて一九、
石黒木の申述て一九一九かららて其中にロ号
数がひとまとめてはがうようとはがけて七五
３は大分協調的なもの

河田嗣郎

荒川様

勞働新聞原稿用紙

東京丸ノ内仲通仲六号館三号
財団法人協調会
殿